

令和8年5月6日北谷町議会定例会

副議長選挙における所信表明（9月29日）

高安 克成 議員

このたび、副議長選挙にあたり、私の考えを申し上げます。

私が目指したいのは、公平・公正で、開かれた、しっかりと議論のできる議会です。

議会には様々な考え方を持つ議員がいます。意見が違ふことは当然です。むしろ、違ふ意見を出し合い、議論し、より良い結論を導き出すことが議会の役割だと思っています。

だからこそ、政治的な立場や人間関係によって扱いが変わることなく、すべての議員が同じルールの下で発言し、活動できる議会でなければなりません。

また、議会の重要な役割は、行政をチェックすることです。

町長や執行部と必要な連携を図る一方で、議会が行政の追認機関になってはいけません。必要なときには問い、問題があれば指摘する。議会としてのチェック機能をしっかりと果たす必要があります。

そして、議会内部についても同じです。人事や委員会運営などが、一部の人たちの話だけで決まるのではなく、ルールに基づき、公平で透明性のある議会運営を進めたいと考えています。

私はこれまで議会改革に取り組んできました。議会基本条例を形だけのものにせず、情報公開や町民参加を進め、何を議論し、なぜその結論になったのかを町民に説明できる議会にしていきたいと思っています。

そして今回、あえて申し上げておきたいことがあります。

議長・副議長は単なる議会内部の役職ではありません。北谷町議会を代表する「顔」となる立場です。

今回の候補者の中には、私が名誉毀損をめぐって提起した民事訴訟の相手方となっている議員がいます。もちろん、提訴されたという事実だけで、その人物が議長・副議長にふさわしい、ふさわしくないと決めるべきではありません。法的責任は司法が判断することです。

しかし一方で、なぜ訴訟にまで至ったのか。その過程で何があったのか。これまで議会の中でどのような言動があったのか。そこまで全く考慮せずに、議会を代表する人物を選んでよいのかということは、各議員に考えていただきたいと思います。

議長・副議長を選ぶ一票は、単なる役職人事の一票ではありません。誰を北谷町議会の「顔」として町民の前に立たせるのか。その判断でもあります。誰と仲がいいから。政治的立場が近いから。誰かから頼まれたから。そうではなく、その人物のこれまでの言動や議会活動も踏まえて、「なぜこの人を選んだのか」町民に説明できる一票を投じていただきたいと思います。

そして、それは私についても全く同じです。私が副議長としてふさわしいのか。これまでの私の発言、行動、議会活動も含めて、同じ基準で判断していただきたいと思います。

もし私が副議長という役割をいただけるのであれば、特定の立場や考え方によって扱いを変えることなく、議長を補佐し、誰に対しても同じルールを適用する、公平・公正な議会運営に努めます。

そして、議会本来の役割である行政へのチェック機能を高め、町民に対して説明のできる、開かれた北谷町議会をつくるために力を尽くします。

以上、私の所信表明といたします。